

近隣住民と公園・集会所について協議 運営・利用

ポラス
グループ

中央グリーン開発 新規分譲地

コミュニティづくりで新たな挑戦

ボラスグループの中央グリーン開発が戸建分譲地「パレットコート北越谷フロードヴィレッジ」（全64邸）において、住民のコミュニティづくりにおいて入居者に限定するのではなく、その周辺の住民は対象を広げている。という新しい試みを行っている。

中央グリーン開発は分譲地の入居者に対して、入居者交流会や住民交流イベントのサポートなど、住民のコミュニティづくりを丁寧に行ってい

フェを完成させ、住民の多くが利用している。このように中央グリーン開発は入居者交流を積極的に支援している。

その中央グリーン開発は、入居者に限定しないで、その周辺の住民まで対象を広げている。

集会所について、隣接する住民と一緒に設計・運営を考えいく場「未来会議」として、2017年10月7日に1回目を、この2月17日に4回目を開催した。

隣接する住民からは、「パレットコート北越谷フロードヴィレッジ」の入居者と一緒に公園や集会所を使用することか

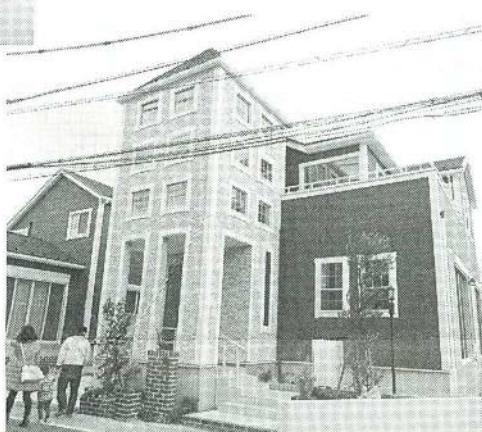
ら、様々な意見やアイデアが出されている。「パレットコート北越谷フロードヴィレッジ」はほぼ1年をかけて販売が行われるが、入居者と近隣の住民も含めた交流について、今までは本格的に行われたことがないだけに、具体的にどのように形で進められるか興味深い。



近隣住民との〈未来会議〉の様子



工事が進む「パレットコート北越谷フロードヴィレッジ」



分譲地内のモデルハウス(2棟)